

山口新聞

平成28年8月26日(金)

NO.215



農地・水・環境
守ろう
地域の手で



地域総出で草刈り

黒杭保全会(下松市)

215

上 会員の皆さん
下 地域総出の草刈り活動



黒杭地区は下松市中心部の東側、市街化区域に隣接する20世帯の小さな集落である。

水稲中心の営農を行っているが、高齢化が進み、耕作放棄地が増えてきた。個人での対応に限界があり、地域で何とかしようとの思いのなか、多面的機能支払交付金のことを知り、昨年8月に当会を立ち上げた。

耕作放棄地には雑草が生い茂り、その脇を通学する子どもたち。地域の有志に

よる草刈りが、いつしか地域総出となった。今は、子どもたちの安全と地域環境の維持、景観の保全のために、年間スケジュールを組んで行っている。

また、鳥獣被害が多く、会員で協力して行う防護柵の点検も重要な活動のひとつとなっている。

地域で協力しながら耕作放棄地に対する保全管理活動を継続していくことで、地域維持のための共同活動が根付いていけばと切に願う。(代表、近藤義美)

金曜日掲載

【メモ】代表 近藤義美
▽会員 21人、農業者(17人)、農業者以外(4人)
▽設立 2015年8月2日
▽連絡先 下松市河内1240の11、近藤義美さん、電話 08333・46・03556